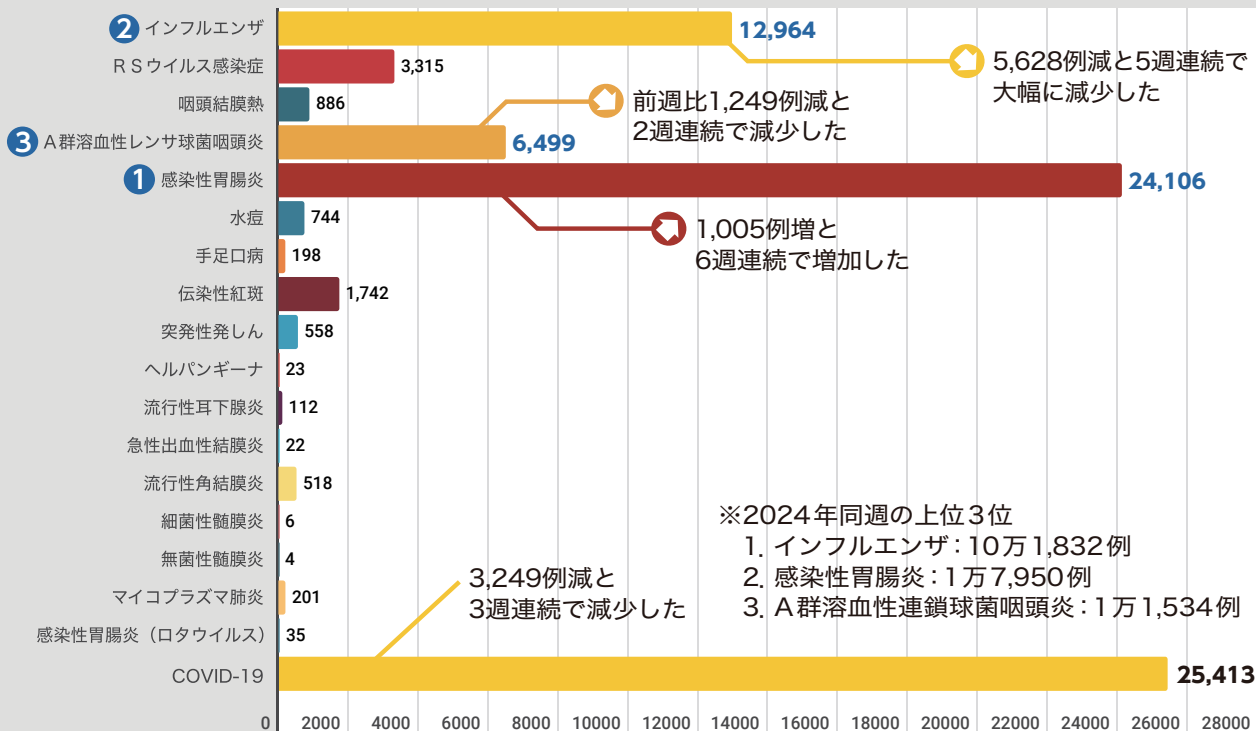




国立感染症研究所が発表する感染症発生動向調査週報「定点把握疾患(週報告)、累積報告数、定点当たり累積報告数、都道府県別」に基づいて、毎週の感染症報告動向をお届けする。

感染性胃腸炎とRSウイルス、6週連続増

丸数字は上位3位 ※COVID-19は除く



(国立感染症研究所のデータを基に編集部作成)

① 感染性胃腸炎

報告数

1. 東京都: 2,694例
2. 神奈川県: 1,830例
3. 大阪府: 1,514例

定点当たりの報告数(7.70)

- | | | | |
|---------------|----------------|---------------|---------------|
| 1. 大分県: 15.86 | 4. 鹿児島県: 11.68 | 7. 宮崎県: 10.47 | 10. 福岡県: 9.94 |
| 2. 熊本県: 14.72 | 5. 香川県: 10.71 | 8. 東京都: 10.20 | 11. 石川県: 9.69 |
| 3. 愛媛県: 13.00 | 6. 広島県: 10.66 | 9. 千葉県: 10.02 | 12. 佐賀県: 9.26 |

② インフルエンザ

報告数

1. 埼玉県: 771例
2. 北海道: 764例
3. 神奈川県: 739例

定点当たりの報告数(2.63)

- | | | | |
|---------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 沖縄県: 11.55 | 4. 山形県: 5.24 | 7. 青森県: 4.41 | 10. 高知県: 3.59 |
| 2. 新潟県: 6.97 | 5. 栃木県: 5.13 | 8. 群馬県: 3.95 | 11. 香川県: 3.45 |
| 3. 岩手県: 6.10 | 6. 宮城県: 4.77 | 9. 石川県: 3.77 | 12. 北海道: 3.44 |

③ A群溶血性連鎖球菌咽頭炎

報告数

1. 東京都: 522例
2. 北海道: 487例
3. 福岡県: 435例

定点当たりの報告数(2.08)

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 茨城県: 4.41 | 4. 福岡県: 3.66 | 7. 大分県: 3.56 | 10. 鳥取県: 3.16 |
| 2. 新潟県: 4.05 | 5. 愛媛県: 3.64 | 8. 岩手県: 3.51 | 11. 石川県: 2.93 |
| 3. 富山県: 3.86 | 6. 北海道: 3.58 | 9. 長崎県: 3.45 | 12. 山口県: 2.88 |

今週の感染症動向

感染性胃腸炎は1,005例増と6週連続で増加した。大分県では、前週の定点当たりの報告数が18.25と警報レベル(20.00)に迫っていたが、今週は15.86とやや減少した。インフルエンザは5週連続で大幅に減少した。ただし、沖縄県では定点当たりの報告数が注意報レベル(10.00)を超えており、前週よりわずかに増加した。A群溶血性連鎖球菌咽頭炎は1,249例減と2週連続で減少した。COVID-19は3週連続で減少した。伝染性紅斑は3週連続で減少し、定点当たりの報告数が警報レベル(2.00)を超えた地域はなかった。RSウイルスは6週連続で増加した。定点当たりの報告数は、多い順に山口県(3.42)、福井県(2.40)、奈良県(1.97)、福岡県(1.87)、三重県(1.84)だった。多くの感染症が減少傾向にある中、感染性胃腸炎とRSウイルスは6週連続で増加しており、警戒が必要である。